

旧小菅保育園跡地の土中アスベスト調査（ボーリング調査）結果及び今後の対応について
参加者の方から頂いたご質問と回答の要旨

日時：7月16日（木）19：00～

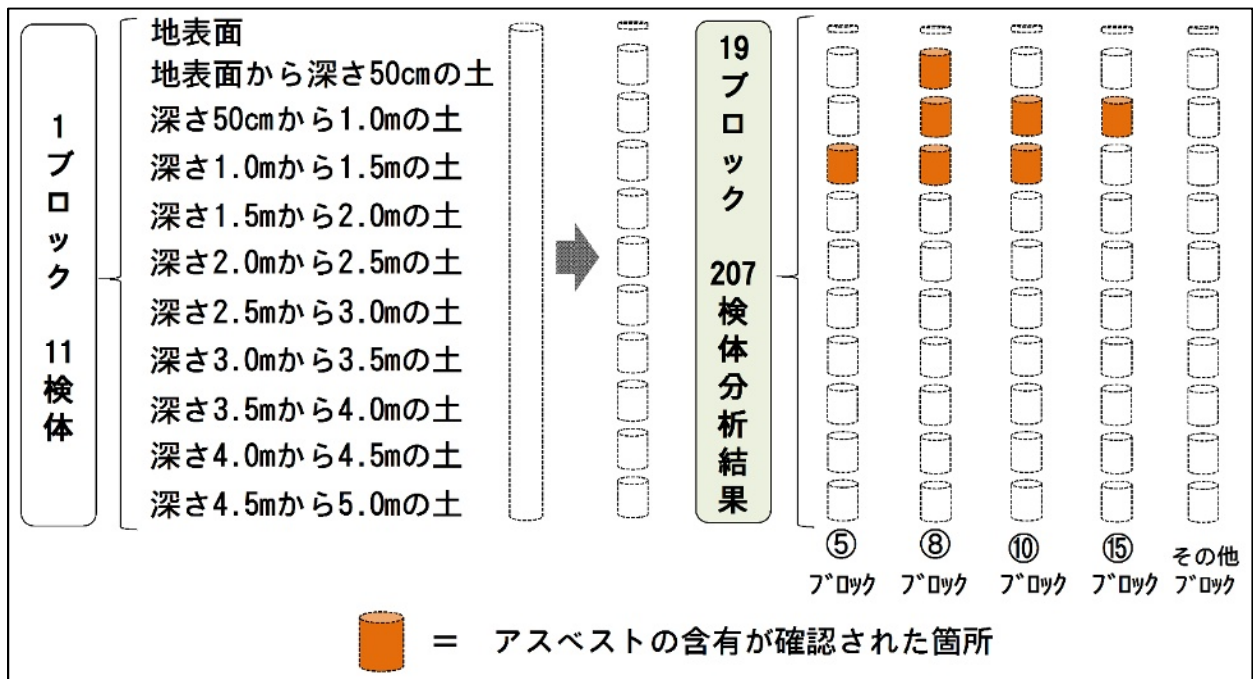
会場：こすげ小学校家庭科室

参加者：8名

検出されたアスベストについて

Q：一つのブロックで11検体ということですが、全体では7箇所が出たということでしょうか？

A：一つのブロックで11検体あり、全19ブロックのため、合計207検体のうち、7箇所でアスベストが検出されました。（下記イメージ図もご参照ください）

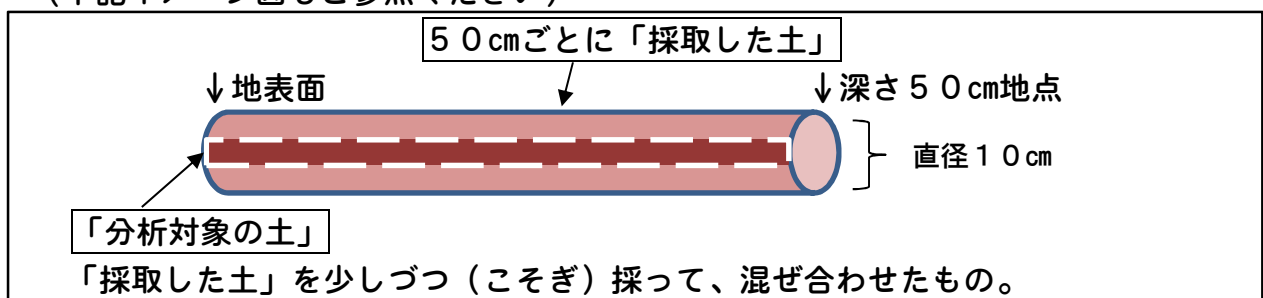


Q：どのくらい量は出たのでしょうか？

A：分析対象の0.1%を超えるアスベストが確認された場合、「アスベストが含有している」となります。今回、アスベストの含有が確認された7箇所では、いずれも0.1%を超え、一番多い箇所では2.2%のアスベスト含有が確認されました。

Q：%ということですが、分母は何になるのでしょうか？

A：分析した土の量を分母としますので重量パーセントです。直径10cmある筒状の道具を使い「採取した土」のうち、「分析対象の土」は「採取した土」を少しずつ混ぜ合わせた土としています。なお、「分析対象の土は」、「採取した土」の約1/4程度です。（下記イメージ図もご参照ください）



Q：石綿の種類は複数ありますが、今回、クリソタイル以外に、アモサイトやクロシドライトは検出されたのでしょうか？

A：検出されたのは、クリソタイルのみです。

土の処分方法などについて

Q：基本的には、この敷地の土を全部処分するという事でよろしいのでしょうか？残ってもらっては困るので。

A：今回の調査では、まずアスベストの分布範囲を調べました。今後、処理計画を策定する中で、どうやって土を処理していくか、またどうやって建物を解体していくかを検討して決めていきます。

Q：アスベストを含有する土の処分先はどこなのでしょうか？

A：処分の方法は、基準や規制の無い土中のアスベストをどう捉えるかによって、変わってまいります。飛散させないのは当たり前ですが、アスベストを含む土をゴミとして処分するのか、しっかりと管理されている特殊な処分場にするのか等も含めて、今後、計画を策定する中で決めてまいります。

Q：処理方法はレベル1(※)になるのでしょうか？

A：建物(建材)については、レベル1～3まで分かれております。土については、レベル1にするのか、レベル3扱いにするのかも含めて、今後検討してまいります。

Q：それが決まり次第、次の説明会があるということでしょうか？

A：そのとおりでございます。

(※)アスベスト含有建材は、解体・撤去する際の粉じんの発生しやすさ(発じん性)の違いによりレベル分け(レベル1～3)される。発じん性が著しく高い石綿含有吹付材はレベル1に該当する。

Q：今回の分析にあたり、特別管理産業廃棄物管理責任者という資格は持っていますか？その資格を持つ方は何名いるのでしょうか？

A：有資格者は3名在籍しております。ただ、今後、アスベストを含む土の処理計画を策定していくことから、解体工事の再開は約一年後になります。そのため、現在、解体工事の請負業者との契約については一度解除することとしております。

解体工事の進捗について

Q：現在、解体工事はどこまで進んでいるのでしょうか？

A：現在、工事については、外部に仮囲いをしており、その後、今回の調査をするためにボーリング(穴を開けて)し、それをふさいだだけです。内部の解体等は一切しておりません。

Q：当初、建物内部のアスベストを取り除くという話もありましたが、それもまだということでしょうか？

A：そのとおりでございます。

問い合わせ先 施設部営繕課

TEL：03(5654)8364

子育て支援部子育て施設整備担当課

TEL：03(5654)8489

